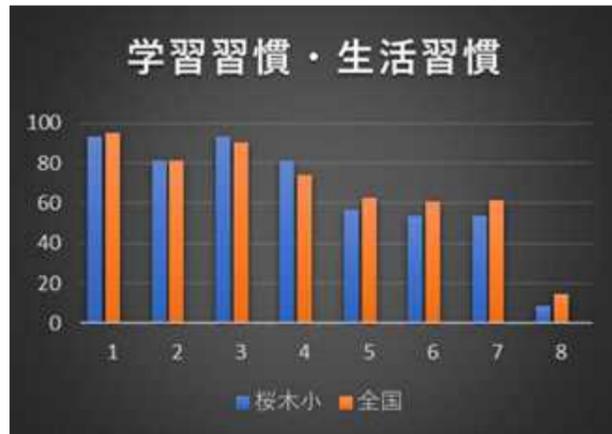


桜木小学校 「児童質問紙」の結果（概要）



【質問事項】

1	朝食を毎日食べていますか。
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。
4	自分で計画を立てて勉強をしていますか。
5	学校の授業時間以外に1日当たり60分以上学習する。(月～金)
6	学校が休みの日に、1日当たり60分以上学習する。
7	学校の授業時間以外に、普段1日当たり10分以上、読書する。
8	新聞を読んでいますか。

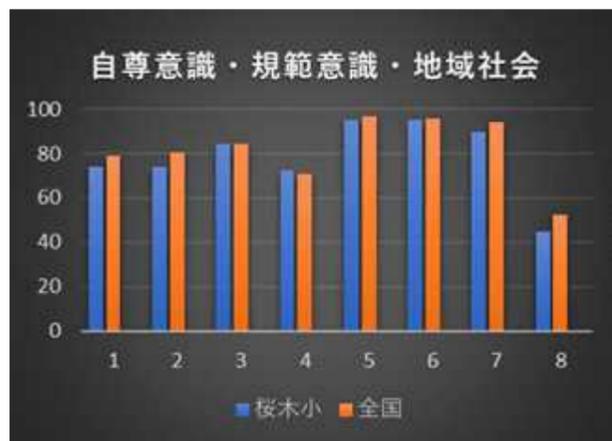
〈分析〉

- 規則正しい生活を心がける児童が全国と同等、それ以上である。
- 計画を立て学習する（しよう）意識を持っている児童が多い。
- ▲自発的な学習をしなければと思いつ、実行できていない。
- ▲家庭で活字に触れている児童の割合が全国比で少ない。

《今後の対応》

◎起床時間が一定している児童がほとんどである一方で、それに比較して入眠時間にやや不安定な状況が見られることから、**SNSやYouTubeを含め、メディアに触れている時間が長いことが影響しているのではないかと危惧されます。**適切な使用や使用時間について、今後ご家庭と連携させていただきながら、ルール等の指導を徹底していくことが必要であると考えます。

◎映像に比較して、**活字に触れる機会が減少している傾向が顕著に見られました。**読書の楽しさや言葉による理解の大切さを教える授業や活動の充実を図っていく必要があると考えます。



【質問事項】

1	自分には、よいところがあると思いますか
2	将来の夢や目標を持っていますか
3	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
4	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
6	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
7	友達と協力するのは楽しいと思いますか
8	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えますか

〈分析〉

- 自分でやると決めたことをやる「責任感」や、困難を乗り越える「使命感」を持った児童の割合が、全国に比べ多かった。
- ▲将来についての指針が持っていない児童の割合が高かった。
- ▲コロナ禍で社会とのつながりに実感が持てていない児童がいる。

《今後の対応》

◎自分意識を高め、規範意識を身に付けつつ、社会との関わり方を学び、将来、自らが社会人として果たさなければならない役割を自覚させ、実践していける力を育成していくことが求められています。自己を見つめさせ振り返らせる活動や、班やグループで協力し高め合うことの意義や大切さを実感させる活動を様々な場面で実践して参ります。その上で、**総合的な学習の時間やキャリア教育等で地域や社会と関わらせる活動に取り組みせ、社会人として生きていく基盤を育てていくことが大切であると考えます。**

全国学力・学習状況調査で明らかになった成果は更に伸長を図り、課題については、学校全体で改善に向け取り組んで参ります。



さくらぎ

“さまざまな
こと思ひ出す 桜かな、
松尾 芭蕉”

学校だより 臨時増刊号③

令和3年11月22日発行

千歳市立桜木小学校

〒066-0072 千歳市自由ヶ丘7丁目1-1
TEL 0123-22-3301 FAX 0123-22-3302
URL: <https://chitose-edu.jp/sakuragi-e/>

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

桜木小学校・保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、今年度5月に実施いたしました、「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果とその分析、また、今後の取組についての方向性がまとまりましたので、お知らせいたします。本校では全職員で調査結果を踏まえ、今後の指導の充実につなげてまいります。

調査内容

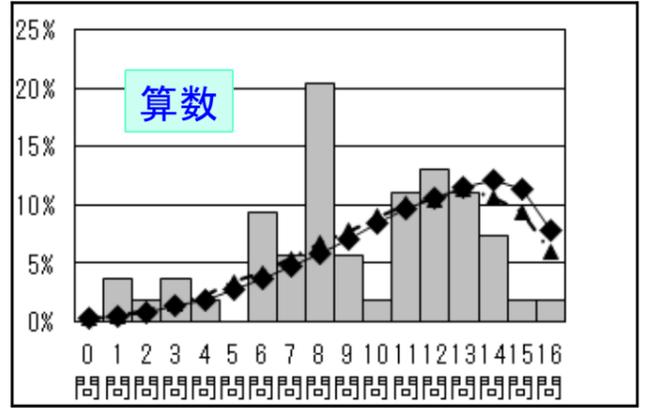
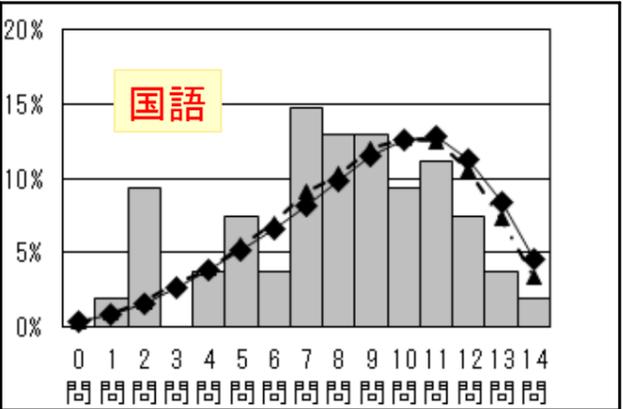
1. 教科に関する調査（国語・算数）

「身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等」「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する内容」を一体的に問う問題となっています。

2. 児童質問紙調査

「学習意欲」「学習方法」「学習環境」「生活の諸側面」についての調査です。

調査結果の概要 全国の平均正答率と比較して、国語と算数ともに、相当低い結果でした。



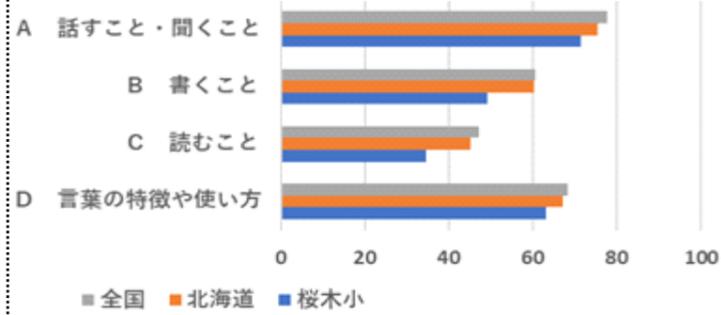
【傾向と分析】

国語、算数ともに、正答数の分布を比較してみると、国語は全国・全道と同じような分布になっているが、算数については、9問を境にして二極化し、また偏りがあるという傾向が見取れる。国語は7問、算数は8問の子どもが最も多いが、全国・全道については、国語は10～11問、算数で13～14問となっている。算数については、15・16問正答した子の数は、全国・全道に比べかなり少ない。

桜木小学校 「国語」の結果（概要）

桜木小学校 「算数」の結果（概要）

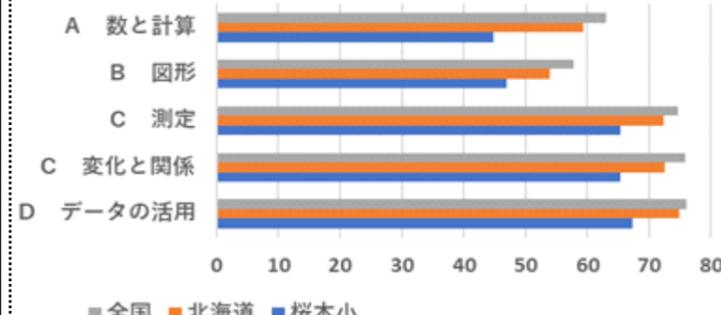
【国語】：領域別の結果



全国の平均正答率と比較して、低い、または相当低い結果でした。

学習指導要領の各領域等において、「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使い方」については、全国に比べ、やや低い結果となり、「書くこと」「読むこと」においては、かなり相当低い結果となりました。記述式の問題に苦手意識を持っている児童が多いことから、授業の中で書かせる活動や場面を多く取り入れていく必要があると考えます。

【算数】：領域別の結果



全国の平均正答率と比較して、相当低い結果でした。

学習指導要領の各領域等において、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」全てで全国と比較し、相当低い結果となりました。特に「数と計算」の問題で、除法の意味を理解し切れておらず、問題文に記載されている順番通りに立式し、誤答したものが半分以上に上っていることから、この部分の指導と定着が必要である。

○平均正答率が80%以上だった問題

問題番号	正答率	問題の概要	出題の趣旨
2二	83.3%	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う

▲平均正答率が20%以下だった問題

問題番号	正答率	問題の概要	出題の趣旨
2四	13.0%	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する

◆無解答率が20%程度だった問題

問題番号	無解答率	問題の概要	出題の趣旨
3三(1)エ	20.4%	丸山さんの【文書の下書き】の中の一線部エを漢字を使って書き直す	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

○平均正答率が80%以上だった問題

問題番号	正答率	問題の概要	出題の趣旨
3(2)	90.7%	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる

▲平均正答率が30%以下だった問題

問題番号	正答率	問題の概要	出題の趣旨
4(2)	25.9%	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる

◆無解答率が20%以上だった問題

問題番号	無解答率	問題の概要	出題の趣旨
3(4)	24.1%	帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる

【桜木小で課題となった問題】

【資料】

2 面ファスナーは、かさやくつなど、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にくっつけたり、はがしたりすることができる、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるできごとがきっかけで開発されました。狩猟のため、愛犬をつれて山に登ったジョルジュ・デ・メストラは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がつきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実は先の曲がったかぎ状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていました。このことをヒントにメストラは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造・販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わりませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー(頭をささえる布)の留め具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、

面ファスナーの仕組み

【問題】

一 相川さんが読んだ【資料】の文書は、何について、どのように書かれていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 面ファスナーの開発と広がりについて、時間の経過にそって書かれている。
- 2 ファスナーの長所と短所について、それぞれの事例が交互に書かれている。
- 3 面ファスナーの長所と短所について、一つの事例が取り上げられて書かれている。
- 4 面ファスナーの開発と広がりについて、筆者の問いとその答えがくり返し書かれている。

《桜木小の課題》

▲目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある児童が多く見られた。

▲記述式の正答率が低い傾向が見られ、得た知識や情報をまとめた自分の言葉として整理し記述することに苦手意識があることが分かった。

《今後の対応》

◎目的や意図に応じて、自分の考えを適切に書く力が確実に育まれるよう、書くことに関する言語活動において、各学年で学習する内容のつながりを意識し、**全学年で書かせる活動の充実と定着を目指します。**

◎鍵となる言葉や文や表現を意識させ、求められる条件に従って、書くことができるよう、教科書教材をもとに、**文章や段落の内容を要約させる練習をさせることで、「書く力」の育成を図っていきます。**

【桜木小で課題となった問題】

(3) 次のような二等辺三角形があります。

上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。

【問題】

平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きました。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかがわかるようにしましょう。また、平行四辺形ABCDの面積が何cm²になるのかも書きましょう。

《桜木小の課題》

▲三角形の高さを正しく認識できていない児童が相当数いた。

▲三角形の面積の公式を用いた計算と、三角形の面積を活用した考えを苦手とする児童が多く見られた。

《今後の対応》

◎三角形の面積の求め方と二等辺三角形を構成する要素などから、必要な情報を選び出すことができずにいました。平行四辺形の面積を求める公式についてや、三角形・平行四辺形・台形等の求め方についてや面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、**面積の求め方について筋道を立てて説明できるように、個に応じた指導の充実に取り組んでいきます。**